

オールインワン手洗

安全に関するご注意

安全のために守ってください！

商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

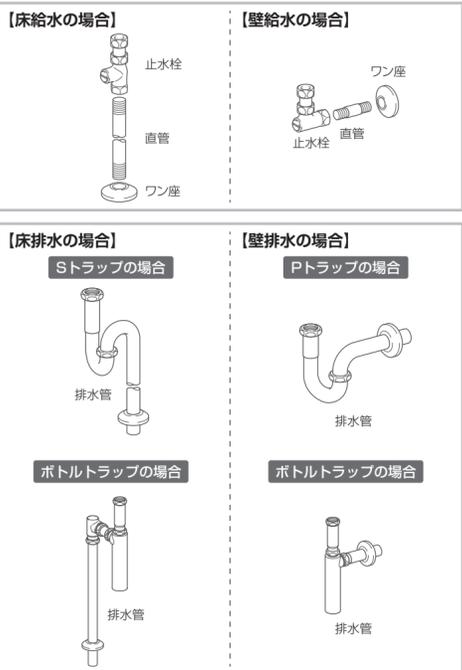
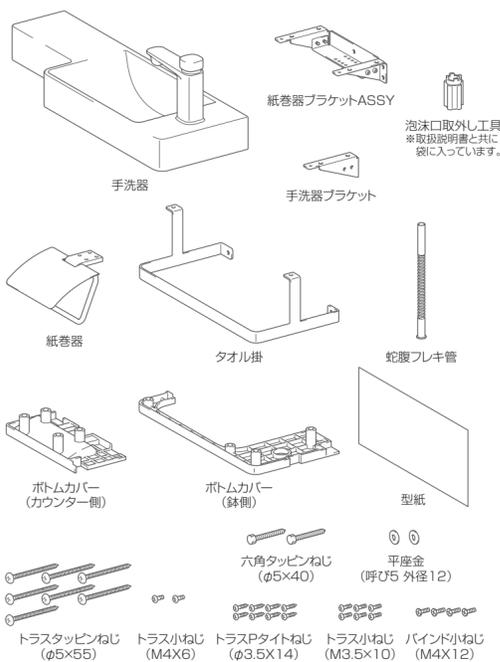
用語および記号の説明

- 警告** …「取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** …「取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- …「注意しなさい！」(上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- …「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- …「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

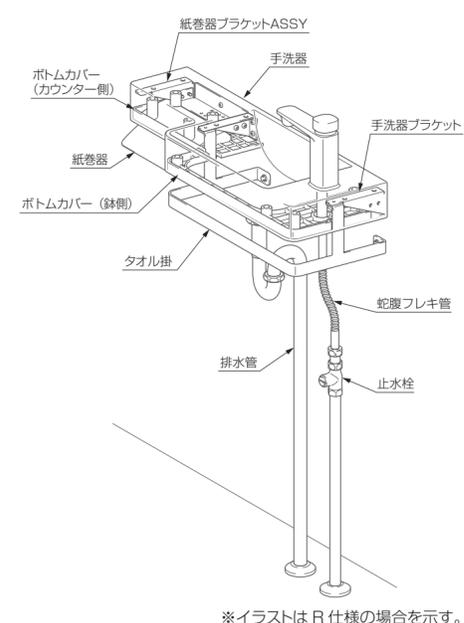
警告	
この説明書に記載された項目以外の分解や修理・改造は行わない。 ※ケガの原因になります。	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けられない。 ※取付けが不安定になり、倒れたり、落下してケガの原因になります。
バスルームなど湿気の多い場所には設置しない。 ※商品本体・ねじ類の腐食により、落下してケガの恐れがあります。	本説明書に従い、適切な取付けをする。 ※取付けが不安定になり、落下によりケガやときに死亡の原因になります。
水道水および飲用可能な井戸水以下に接続しない。 ※給水部品内部の腐食により皮膚の炎症の原因になります。	施工完了後は商品の固定、商品の傾き、ガタつきがないことを確認する。 ※緩みがありますと使用中に落下し、ケガの原因になります。

注意	
蛇腹フレキシ管を無理に折り曲げない。 ※蛇腹フレキシ管が損傷し、漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害発生の原因になります。	お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜く。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。
商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしない。 ※破損やケガの恐れがあります。	取付けは施工店が、施工説明書の指示通りに施工する。 ※誤った施工は取付けが不安定になり、ケガや漏水など財産損害発生の原因になります。
施工後の漏水点検を必ず行う。また、施工段階での破損がないことを確認する。 ※水漏れして家財などを濡らす財産損害発生やケガの原因になります。	手洗器やタイルバックパネルのすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する。 ※水が浸入し、家財などを濡らす財産損害発生の原因になります。
商品の取付位置には壁裏に補強する。 ※取付物の転倒、落下によりケガをする恐れがあります。	水平器を用いて、水平に設置する。 ※落下によってケガをする恐れがあります。

部品の確認



各部のなまえ



※イラストは R 仕様の場合を示す。

施工手順

■ は本書を、□ は商品の施工説明書に従って正しく取り付けてください。

- 施工前の確認・注意**
- STEP 1 プラケットの取付け
 - STEP 2 タオル掛の取付け
 - STEP 3 手洗器の取付け
 - STEP 4 紙巻器の取付け
 - STEP 5 給水金具の取付け
 - STEP 6 排水部材の取付け
 - STEP 7 通水の確認
 - STEP 8 タイルバックパネルの取付け
 - STEP 9 引渡し準備

施工前の確認・注意

■取付スペースについて

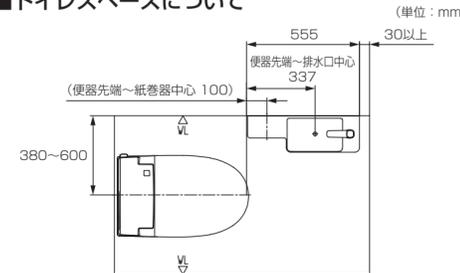
- 壁、床の直角度(かね)がでていること。
- ねじ位置の壁裏に電気配線や配管等がないことを確認してください。
- 木造土壁、木ずり下地には取り付けできません。
- 壁材(石膏ボード等)が劣化していると、取付強度が確保できません。次の現象が発生している場合、壁材が劣化している可能性があります。必要に応じて壁材を張り替えてください。
 - ・壁材に反りやカケ、ひび割れがある場合
 - ・壁紙の剥がれや、しみ、カビの発生がある場合
- 使用するドライバーの推奨長さは 200mm 程度です。(参照：■必要な工具について)
- 便器の排水芯は、便器の施工説明書を確認してください。
- 商品取付部に下地補強木が入っていることを確認してください。(厚さ 24mm 以上)
- 壁床面の不陸は、2m あたり 3mm 以下であることを確認してください。
- 石こうボード等のボード張りの厚さは 9.5mm 以上～ 12.5mm 以下を想定しています。想定厚みの範囲外となる場合は、想定厚みとの差分だけ短いねじもしくは、長いねじを別途用意してください。
- 施工時、施工後に直射日光が当たらないようにしてください。
- 給水圧力は右記の条件であることを確認してください。最低必要圧力は 0.05MPa(流動時)、最高圧力は 0.75MPa(静止時)です。
- ペーパー取替のため、紙巻器部の横に 125mm の空間が必要です。

■必要な工具について

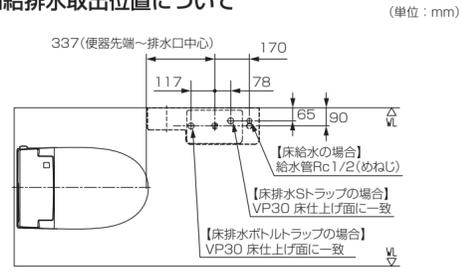
※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



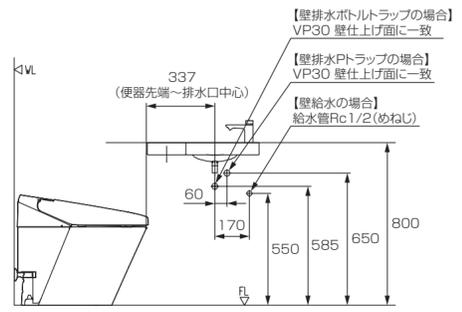
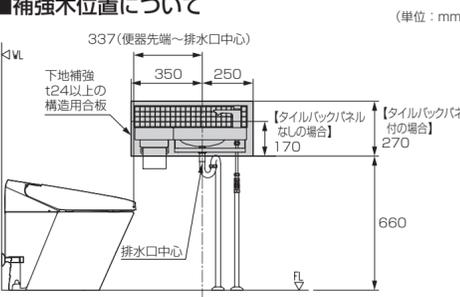
■トイレスペースについて



■給排水取出位置について



■補強木位置について



株式会社 LIXIL ●商品・施工方法についてのお問い合わせ

お客さま相談センターへ

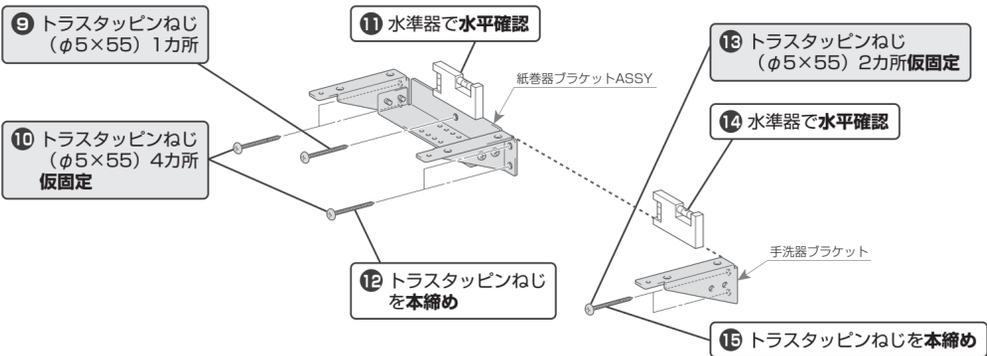
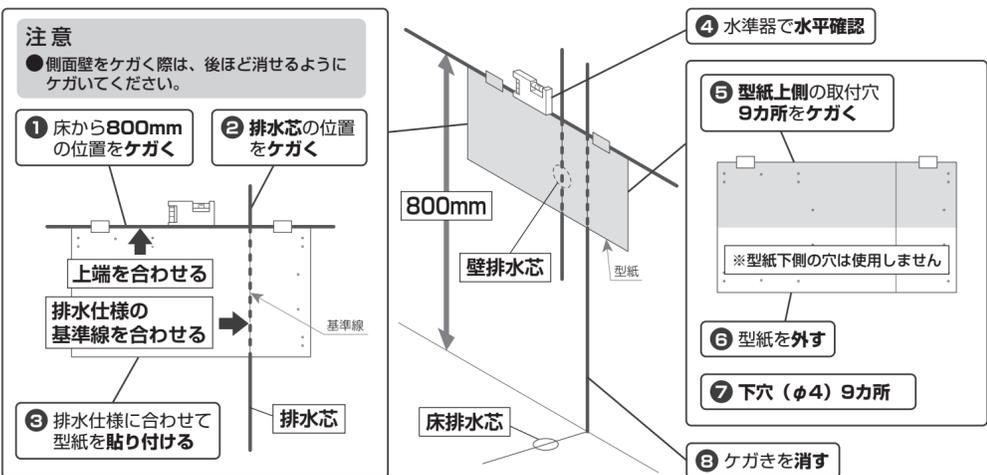
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00～18:00
土日・祝日 9:00～17:00
(コールセンター、夏期、年末年始の休みは除く)

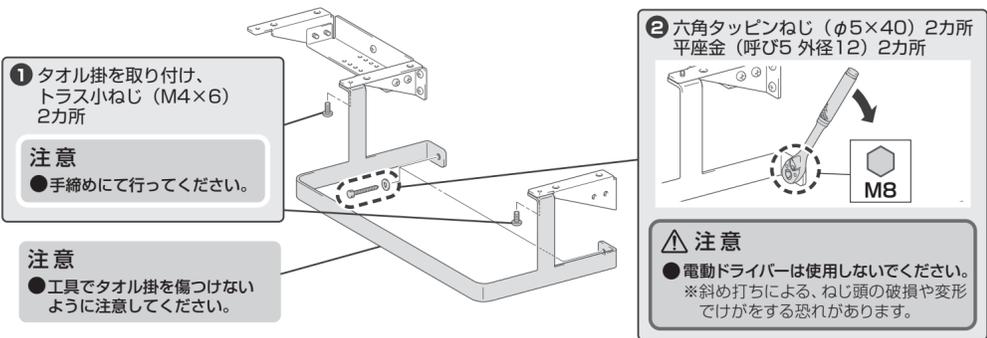
施工方法

[R 仕様の場合] ※L 仕様の場合は、取付位置が反転します。

STEP 1 プラケットの取付け



STEP 2 タオル掛の取付け



STEP 3 手洗器の取付け

1 手洗器を取り付けて、側面壁に押し当てる

注意

- 手洗器を持つときに水栓金具を持たないでください。
※水栓金具の取付部が破損する場合があります。

注意

- 便器側一番手前の穴は使用しません。

注意

- 手洗器とタオル掛の間が均一になっていることを確認してください。

2 トラス小ねじ (M3.5×10) 6カ所

注意

- 手締めにて行ってください。

注意

- 手洗器と各ボトムカバーの取付穴が合っていることを確認してから、ねじで固定してください。

3 ボトムカバー (鉢側) を取り付ける

4 トラスPタイトねじ (φ3.5×14) 4カ所

注意

- ねじが空転しない程度に、手締めにて行ってください。

手洗カウンターとタオル掛の間から入れる

5 ボトムカバー (カウンター側) を取り付ける

6 トラスPタイトねじ (φ3.5×14) 4カ所

注意

- ねじが空転しない程度に、手締めにて行ってください。

STEP 4 紙巻器の取付け

1 紙巻器を取り付ける

2 バインド小ねじ (M4×12) 4カ所

注意

- 手締めにて行ってください。
- 小ねじについての色の緩み防止剤は、施工後はみ出た分をきれいにふき取ってください。

STEP 6 排水部材の取付け

1 排水部材を取り付ける

注意

- 建築側排水立ち上げとの差し込みしろは約30mm確保してください。
- 建築側排水管との接続は市販の接続アダプターを使用してください。

注意

- 袋ナットは手締めでしっかりと締め付けてください。

【床排水の場合】

ストラップの場合

接続ナット、スリップワッシャー、バックリン、袋ナット、U管、S管、ワン座、接続アダプター (市販品)

約30mm 残して切断

【壁排水の場合】

Pトラップの場合

接続ナット、スリップワッシャー、バックリン、ワン座、接続アダプター (市販品)、L管、袋ナット、U管

約30mm 残して切断

ポットトラップの場合

接続ナット、スリップワッシャー、バックリン、延長管、袋ナット、接続アダプター (市販品)

約30mm 残して切断

ポットトラップの場合

接続ナット、スリップワッシャー、バックリン、延長管、袋ナット、接続アダプター (市販品)

約30mm 残して切断

注意

- 延長管は絶対に切断をしないでください。
- 下図の寸法が35~55mmになっていることを必ず確認してください。

35~55mm

切断不可

ポットトラップ

約30mm 残して切断

排水管、ワン座、ボットトラップ

差し込みしろ 約20mm

接続アダプター (市販品)

STEP 5 給水金具の取付け

【床給水の場合】

1 袋ナットを取り外す

2 ねじ部にシールテープを巻く

3 直管を取り付ける

4 ワン座を差し込む

5 ねじ部にシールテープを巻く

6 給水口に取り付ける

【壁給水の場合】

1 袋ナットを取り外す

2 ねじ部にシールテープを巻く

3 直管を取り付ける

4 ワン座を差し込む

5 ねじ部にシールテープを巻く

6 給水口に取り付ける

注意

- 取り外した部品は次の手順で使用します。なくさないようにしてください。

注意

- 止水栓に手をかけたり、踏んだりしないでください。
※配管がぐらついたり、破損して漏水の原因になります。
※壁や床を傷める恐れがあります。

7 蛇腹フレキ管を立ち上げ位置に合わせて曲げる

注意

- ツバ部を曲げないようにしてください。
※漏水の原因になります。

切断不可

8 手洗器側を切断する

注意

- 蛇腹フレキ管の切断は、上側を切断し差し込みしろを15~20mm残してください。
※下側 (ツバ部) を切断したり、差し込みしろが少なかつたりすると漏水の原因になります。

差し込みしろ 15~20mm

9 袋ナットを取り外す

ゴムバックリン、スリップワッシャー、テーパリング、袋ナット

10 蛇腹フレキ管に袋ナットなどを差し込む

手洗器の部品、止水栓の部品

ゴムバックリン、スリップワッシャー、テーパリング、袋ナット、バックリン

11 手洗器に差し込む

手洗器吐水口

12 止水栓側を取り付ける

止水栓

13 手洗器側を取り付ける

注意

- 止水栓側を先に取り付けてください。
※手洗器側を先に固定すると蛇腹フレキ管のツバ部が曲がり漏水の原因になります。
- 袋ナットは、締付トルク10~15N・m (100~150kgf・cm) ※締め付けが不十分だと漏水の原因になります。
- 袋ナットの増し締めは、水栓の角度が変わらないように支えながら行ってください。

STEP 7 通水の確認

1 止水栓を開ける

注意

- 止水栓を開く際は、手洗器の水栓が閉じていることを確認してください。
※開いている場合は水栓スイッチを押し水栓を閉じてください。

閉じている 青ライン無し

開いている 青ラインあり

2 手洗器の水栓から水を流す

水栓スイッチ

3 各接続部に漏水がないか確認

注意

- 給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

No.	点検箇所	チェック
1	給水金具接続部	
2	排水部材接続部	

STEP 8 タイルバックパネルの取付け

施工方法は、タイルバックパネルの施工説明書をご覧ください。

STEP 9 引渡し準備

1 コーキングする

注意

- タイルバックパネルを取り付けた場合は、コーキング位置が異なります。タイルバックパネルの施工説明書をご覧ください。

お掃除・耐荷重シール

SIAA (抗菌) シール

注意

- 手洗器に貼付けてあるシール (2箇所) にコーキングが被らないようにしてください。

2 引渡し準備をする

注意

- 施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や蛇腹フレキ管から水を抜いてください。
※漏水の原因になります。
- 施工完了から、しばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。
※排水管からの臭気ガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。
- 施工完了後、取扱説明書および泡沫口取外し工具とともに施工説明書および付属品をお客さまに必ずお渡しください。